

梅香る通信

発行日：平成23年12月19日

No. 15

新富町立新田中学校

文責：校長 緒方宗雄

『感性を磨く』

私たちの体には、見る・聞く・味わう
臭う・触れるなどの感覚器官が備わって
いますが、同じものを見ても、それをど
う捉えて感じたり思ったりするかは、人
それぞれ違います。

野に咲く一輪のスマレの花に美を感じ
る。紙くずが落ちていることに気付いて
自然に手が伸びて拾う。友達の顔つきに
元気のなさを感じたので声をかける。ト
イレのスリッパが乱れていたのを揃え
る。このように、目から入る情報をどう
捉えて、感じ、考え、行動に反映させる
かどうかは、その人の“人となり”を示
すことに繋がるように思います。

美しいものを美しいと感じる心、人の
悲しさを想像することのできる心、この
ような感覚は自分で磨いていかなければ
身につかないものではないでしょうか。
視野には入っているのだが、「見えども
見えず」では寂しいです。

人としての、“感性”を磨き、それか
ら一歩進んで“行動”に移すことのでき
る人でありたいものです。

《 新校舎へ 》

新しい3階建ての校舎が完成しまし
た。仮設校舎からの移転作業は、12月
27日・28日に終える予定です。

三学期は、新校舎で生活します。ピカ
ピカの明るい校舎を大切に使用させて
いただき、落ち着いて充実した学習を進め
なければならないと新たな思いをみんな
が抱きたいものです。

それに伴って、事務室・職員室・校長
室も新田小学校と一緒に管理棟に移りま
すので、よろしく願いいたします。

三学期始業の日〔1月10日火曜日〕

【 家族を思う 】

新年を迎えるにあたって、これまでの
1年間を振り返ることも必要なことだと
思います。その時に、今ここに自分が在
ることの原点に思いを至らせたもので
す。それは、父や母・祖父や祖母など家
族にどれだけお世話になって自分がここ
まで育ってきたのか、ということです。

子どもが親に世話をしてもらうことは
当たり前だと思うかも知れませんが、そ
んな当たり前がどれだけ尊く、大変なこ
とか。自分を育てるために、どんな苦勞
があったのか、直接聞いたり想像したり
すること、また感謝の気持ちを示すこと
は、とても大切なことだと考えます。

家族であっても、「ありがとう」の言
葉は絆を深める大切な鍵です。

「卒業生より寄付」

先日、本校の第9回卒業生の皆様が来
られました。(代表 森川正三様 他7
名)第9回卒業生一同として、皆様から
金一封をいただきました。

本校OBの皆様が、どこかでいつも新
田中学校を我が母校として、気にかけて
応援していただいていることを感じ心強
く思ったところです。

ありがとうございます。子どもたちの
ために有効に使わせていただきます。

